

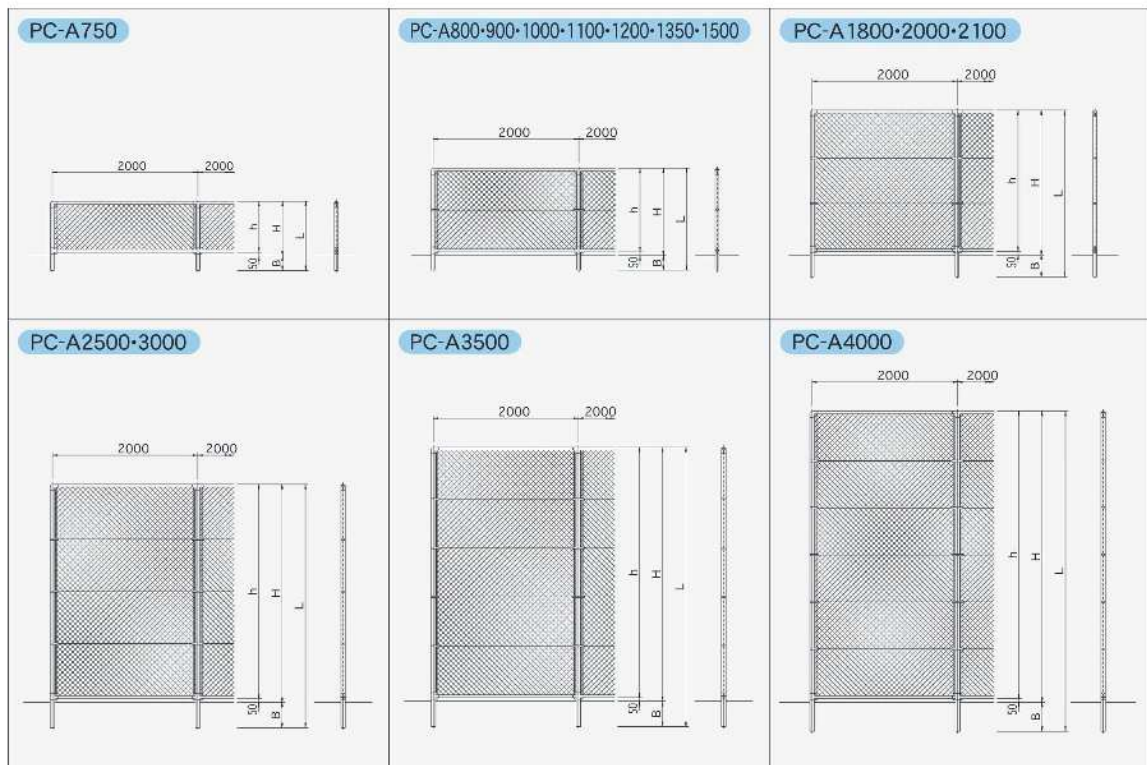
A型 標準タイプ[®] PC-A750~A4000



PCフェンス SERIES

P
C





※各規格の寸法、参考基礎寸法は下記の表を参照ください。
 ※詳細については別刷標準図集を参照ください。

A型 規格・寸法・参考基礎 (沖縄地区は除く。)

呼称	寸法		主 柱 (mm)			単位質量 (kg/m)	参考基礎寸法 (mm)	
	高さ (mm)						金網規格 φ2.6×56 φ2.6×40 φ3.2×56 φ3.2×50	
	(H)	(h)	規格	(L)	埋込 (B)		金網規格 φ3.2×40 φ4.0×56	
A 750	750	700	φ50.8×1.6	950	200	6.4	180×180×450	180×180×450
A 800	800	750	〃	1000	〃	6.8	〃	〃
A 900	900	850	〃	1100	〃	7.2	〃	〃
A 1000	1000	950	〃	1200	〃	7.6	〃	〃
A 1100	1100	1050	〃	1300	〃	8.0	〃	〃
A 1200	1200	1150	〃	1400	〃	8.4	〃	〃
A 1350	1350	1300	〃	1600	250	9.0	〃	〃
A 1500	1500	1450	φ50.8×2.3	1750	〃	10.3	〃	〃
A 1800	1800	1750	〃	2100	300	11.8	200×200×450	250×250×450
A 2000	2000	1950	〃	2300	〃	12.7	250×250×450	250×250×500
A 2100	2100	2050	〃	2400	〃	13.2	〃	〃
A 2500	2515	2465	φ60.5×2.3	2865	350	16.1	300×300×500	300×300×600
A 3000	3000	2950	φ60.5×3.2	3350	〃	20.3	300×300×600	350×350×600
A 3500	3500	3450	φ60.5×3.2 (溝入り)	3850	〃	24.5	400×400×600	400×400×650
A 4000	4000	3950	φ60.5×3.2 (溝入り)	4400	400	28.2	500×500×900	550×550×900

※風圧力での設計製品です。(昭和57年改正の建築基準法・同施行令の計算基準に従っています。)

※地耐力 98kN/m^2 [10t/m^2] (長期)の場合のコンクリート打ちの参考基礎寸法です。地耐力が異なる場合は弊社までご相談ください。

※(L)の寸法は主柱パイプ長さにジョイントによる高さ加算分(45mm)を含めた長さです。

※単位質量は、金網規格 $\phi 3.2 \times 56\text{mm}$ (300g亜鉛めっき鉄線)を使用した場合のもので、

※芯び返し付の基礎寸法は、A2100・A3000のみ金網規格によらず $\phi 3.2 \times 40\text{mm}$ の寸法にしてください。

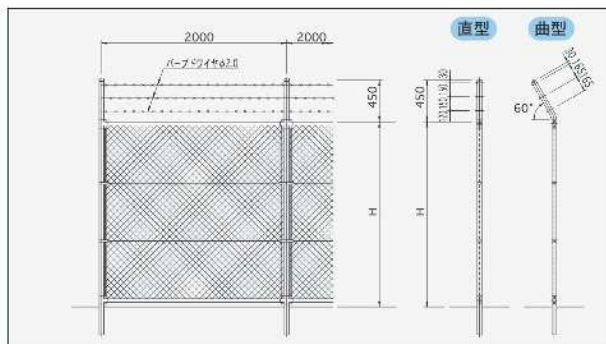


忍び返し付



PC-A1800忍び返し付(曲型)

※詳細については別刷標準図集を参照ください。
※柱のキャップは写真と形状が異なります。



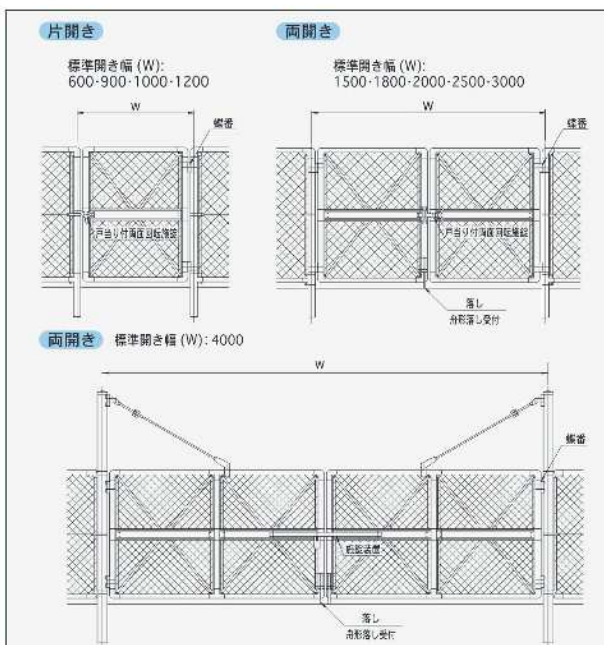
※バードワイヤφ2.0は、めっき線です。色付きではありません。
※バードワイヤのタルミを少なくするためにフック座金を採用しています。
※忍び返し付の場合、上部ジョイントは下部ジョイントと同一のものを使用します。
※忍び返し付の場合、上銅線は下銅線と同一寸法となります。

門扉



PC片開き門扉 H1200×W1000

※施設部の遊びにより、閉時でも門扉は若干前後に動きます。
※参考基礎寸法は、価格表を参照ください。
※W6000をこえる門扉についてはお問い合わせください。
※詳細および、他の規格の門扉については別刷標準図集を参照ください。

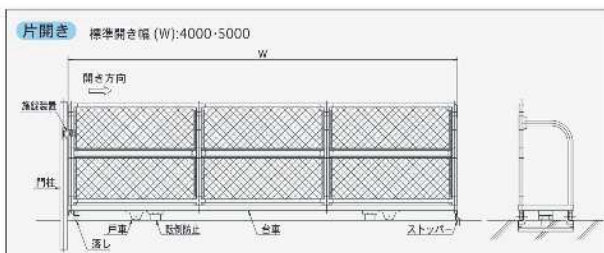


引戸



PC片開き引戸 H1200×W4000

※参考基礎寸法は、価格表を参照ください。
※詳細については別刷標準図集を参照ください。



※片開きW6000、両開きについては別刷標準図集を参照ください。
※門柱不要の場合はお問い合わせください。
※門柱を設けない場合、施設は内側の落しで行います。
※レールはさび止め塗装仕上げです。特注品として溶融亜鉛めっき仕上げも製作できます。

⚠ 引戸使用上の注意

- 引戸使用の際には必ず転倒防止金具の取り付けを確認を行い、転倒防止効果を確認してください。
- 引戸用レール溝には必ず排水溝を設けたうえ、適宜点検し、溝内の土砂・ゴミ等を取り除いてください。水や土砂等がたまった状態ではレールが早くさびたり、凍結等により引戸が正常に作動しなくなる等の恐れがあります。
- 開閉時には手足等をはさまないように注意してください。また、移動方向に障害物がないことを確認してください。
- 引戸本体をゆすったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
- 開閉終了時には必ず落とし棒にて引戸本体を固定してください。
- 引戸に看板・防風シート等、空気抵抗が生じるものを取り付けしないでください。
- その他不明な点はお問い合わせください。

PCフェンス 金網（規格・カラー）

完全式菱形金網（JIS G3552準拠）

金網種類	300g 亜鉛めっき鉄線	400g 亜鉛めっき鉄線	タフガード®マイルド スプリングネット 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきハガネ鉄線 スプリングネット 400g 亜鉛めっきハガネ鉄線	スプリングネット カラーハガネ鉄線 (300g/m以上めっきカラー線)	サンカラー鉄線 (3種めっきカラー線)	ビニル被覆亜鉛めっき鉄線
規格 (mm)	φ3.2×56・φ3.2×50 φ3.2×40・φ4.0×56	φ3.2×56・φ3.2×40 φ4.0×56	φ2.6×56・φ2.6×40	φ2.6×56・φ2.6×40	φ3.2×56・φ3.2×50 φ3.2×40	φ3.2×56・φ3.2×50 φ3.2×40・φ4.0×56
カラー				  ＜カラーハガネ鉄線・サンカラー鉄線・ビニル被覆線＞		
				 ＜カラーハガネ鉄線・サンカラー鉄線のみ＞		

※テニスコートに使用の場合には、網目40mmをご使用ください。（網目50mmを超えるとボールが抜ける恐れがあります。）

※金網選定の際には、スリムで高強度な「スプリングネット」の使用をおすすめします。スプリングネットについては下記の資料を参照ください。

※塗装品（特殊）に同名称のカラー金網を組みあわせる場合、金網部分と鋼材部分の色相が異なる場合があります。

参考 スプリングネット

抗張力の高い 亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきハガネ鉄線 および 400g 亜鉛めっきハガネ鉄線、カラーハガネ鉄線(300g/m以上めっきカラー線)を使用し、高度の技術により製造された、スプリングのように強靱な金網がスプリングネットです。同じ線径の一般品と比較すると、約2倍の高い強度が得られます。

1. 金網の強度は抗張力に比例

φ2.6mmのスプリングネットの抗張力は、同じ線径の一般品と比較すると約2倍になり、一般品のφ3.2mmの約1.3倍の強度を持つことになります。

■線材の抗張力比較■

(N/mm²)

線径 (mm)	スプリングネット		
	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきハガネ鉄線 400g 亜鉛めっきハガネ鉄線	カラーハガネ鉄線※	亜鉛めっき鉄線 3種～7種
φ2.6	850～1050	800～1050	290～540
φ3.2	-	-	290～540
φ4.0	-	-	290～540

※カラーハガネ鉄線は、300g亜鉛めっきハガネ鉄線の上にカラー塗料塗装をしたものです。

2. 金網がスリムであればフェンスは強くなる

φ2.6mmのスプリングネットは軽量で、受圧面積も小さく抑えられます。よって、柱や胴縁への負担を軽減できるうえに風圧による負担も小さくなるので、フェンス全体として強くなることになります。

また、線径が細いことにより見通しが良くなるので、駐車場や球場スタンドネット、バックネットなどに適しています。

■金網の重量比較■

(kg/m²)

スプリングネット		亜鉛めっき鉄線	
亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきハガネ鉄線 φ2.6×56mm	400g亜鉛めっきハガネ鉄線 φ2.6×56mm	φ3.2×56mm	φ4.0×56mm
1.58	1.58	2.37	3.65

■金網の受圧面積係数比較■

スプリングネット		亜鉛めっき鉄線	
亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきハガネ鉄線 φ2.6×56mm	400g亜鉛めっきハガネ鉄線 φ2.6×56mm	φ3.2×56mm	φ4.0×56mm
0.087	0.087	0.106	0.129

PCフェンス 設計上のご注意

- ①端尺スパン、コーナーおよび勾配については特にご指示ください。
- ②柱、胴縁、網張りFBの外装はJIS H8641(溶融亜鉛めっき)に示すHDZT56(HDZ40相当)、ジョイント、ボルト・ナットはHDZT49(HDZ35相当)を標準とします。
- ③鋼材関係は、めっきの上に高耐候性樹脂粉末塗装もできます。ご相談ください。
- ④足場等の関係でナット側から施工できない場合は、ボルト頭側から施工できる六角ボルト・ナットをご用命ください。
- ⑤ご使用の前に裏表紙の『⚠注意』の項目をご覧ください。
- ⑥積雪地用フェンス・特殊バックネット・高速道路立入防止柵・防衛施設タイプフェンス・空港フェンス(場周柵)・有刺フェンスについては、弊社までご相談ください。

施工要領

弊社ホームページに
動画を掲載しております。
ご確認ください。



PCフェンス SERIES

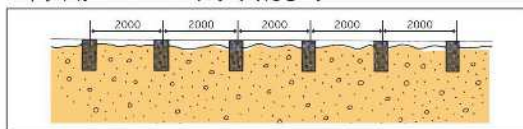
標準水平部

※半径30m以上の円弧には中間ジョイントにて対応できます。
※一律勾配角度10度までは中間ジョイントにて対応できます。

1 基礎・埋込み穴

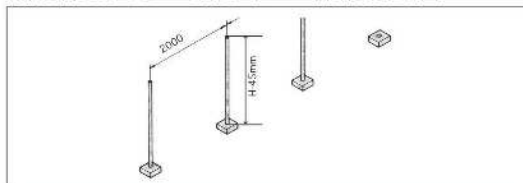
レベルを基礎上端にあわせませう。

基礎にあける埋込み穴は、芯々2000mmに正確にあけてください。
埋込み穴の径はPCフェンス80~100mm、高尺フェンス・バック
ネットは120~150mmにしてください。



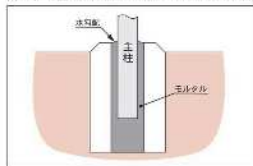
2 支柱の建込み

支柱の高さはフェンスの高さより45mm低く建込みます。



3 モルタル詰

水平・通りを正して、モルタル詰めを行い、水勾配をつけてください。

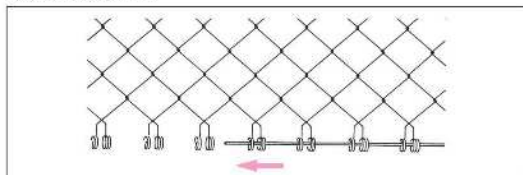


注意

基礎のスリーブは必ず抜き取り、
モルタルを充て込んでください。
砂・空ねり等では柱の強度が
保てません。

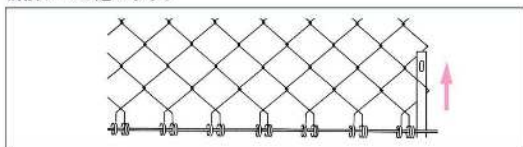
4 金網調整

金網の貼り具合の調整を行いリングをそろえて力骨線の片方を曲
げてから通します。



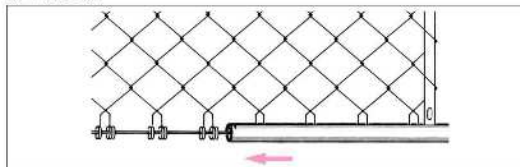
5 網張りFB

網張りFBを通します。



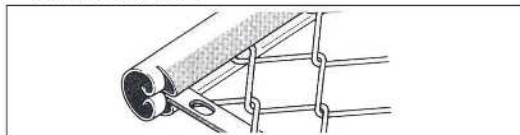
6 胴縁組み込み

力骨線を曲げた方から胴縁を押込みます。胴縁は水抜穴があいた方
が下側です。



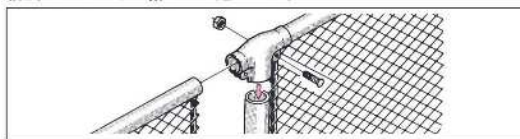
7 離脱防止

上胴縁の両端から約15mmのところに切込みがあるので、切込みベン
チで曲げ込み閉鎖します。



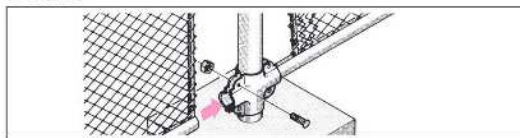
8 上部ジョイント組み込み

網張りFBの穴と一緒にかん通させます。



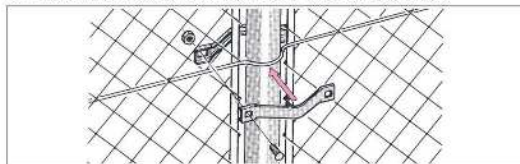
9 下部ジョイント組み込み

あらかじめ下部ボルトを仮止めしておいた下ジョイントに胴縁をはさ
み込んで、上ボルトを網張りFBの穴と一緒にかん通させ、上下共本締
めします。



10 中番線通し、バンド取り付け

中番線は通して、中間柱の前後1~1.5目から外に出し、柱に沿わせ
少し押し込んで丸味をつけ、バンドを取り付けます。
(仮止め→本締め) (勾配の場合は直線切りを使用します。)
(中番線の過度の張り過ぎは柱が湾曲する恐れがあります。)



11 チェック

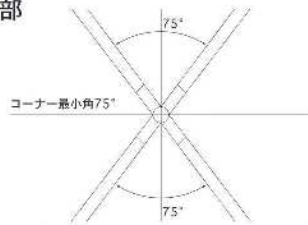
全スパンの組み立て完了後、前後左右の振れ、水平・通りを正して
ボルト・ナットの締め付けを点検します。

機能を十分に発揮するために正確な施工を行ってください。

※矯正の際は必ずゴムハンマーを使用するか、当木をして叩いてください。
※施工時、製品は直接地面に置かないで敷物を施してください。

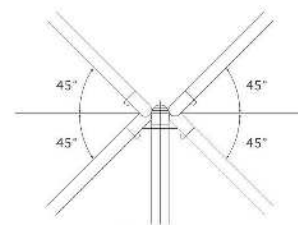
コーナー・勾配部

コーナー部

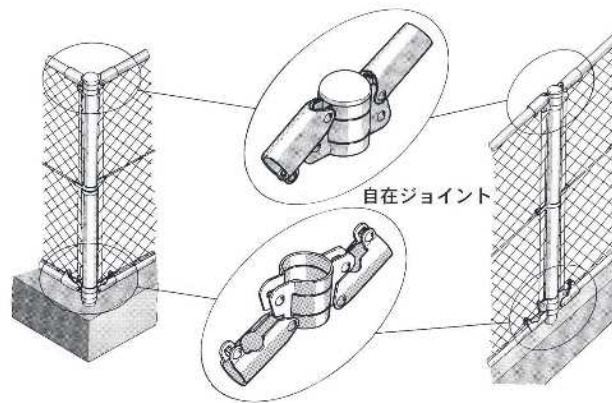


60度～75度まではボルト・ナットの丸頭を内側に向けてご使用ください。
60度以下のコーナーについては別途ご指示ください。

勾配部

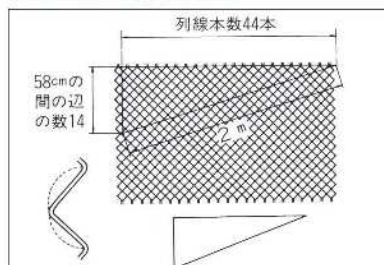


使用可能範囲 上勾配角度45度まで
下勾配角度45度まで

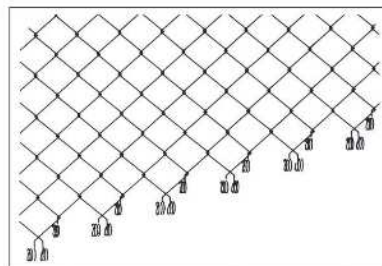


勾配用金網の調整例

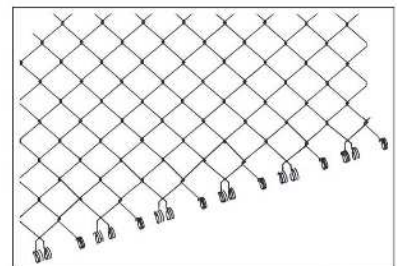
[2mで58cmの落差の場合]



必要な列線本数はφ3.2×56mmでは水平の場合より2本前後余ります。必要列線本数を44本と仮定すると落差間の辺数14で割ると≒3.1です。
(ビニル被覆亜鉛めっき鉄線の場合)



列線を約3本毎に反屈曲(1辺)ずつ繰り出します。



繰り出し終わると勾配に沿うようリングの巻き加減、首の曲げ付け等をして調整します。

施工例

